学校番号	1016

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	2・3年次
使用教科書	書道Ⅱ　（東京書籍）						
副教材等	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅰで学習した書写能力を基盤に、古典の書の臨書や創作を通して、幅広い書の表現理論と技法を習得しましょう。線質の変化がもたらす書の印象の違いを創作に生かすことで、書に関する興味・関心を深め個性豊かな書の能力を伸ばしていきましょう。書の歴史や文化の理解を深め、書の美を分析的・総合的に鑑賞することによって、主体的な学習態度を育てていきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・書の表現方法や形式、書の表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている
・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な知識を身に付け、表している
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている
【学びに向かう力、人間性等】
書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:学びに向かう力、人間性等
観点の趣旨	・創造的な諸表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付けている。 ・使用する用具用材の特性と表現効果について理解している。 ・用筆・運筆から生み出される書表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 ・知識を確実に身に付けるための努力を行っている。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。 ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。 ・知識を身に付けることの重要性を理解し、維持向上する方法を実践している。	・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み感性を高め、表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。 ・知識を活用することを実践し、これを学習面に活用している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	学(c)
4・5・6月中旬	書体の変遷	漢字の書による学習 (古典の臨書) ・篆書 ・隷書 ・篆、隷書による創作 【 小テスト 第1回 】 ①平仮名筆順 ②片仮名筆順 ③平仮名字源	a:篆書・隷書の用筆法により生じる線質の違いを考えながら臨書に取り組もうとしている。 b: 書体の変遷を「造形美」と「用筆法」の両面から理解し表現を工夫している。 b:篆書・隷書の特徴や基本を身に付け表現している。 c:臨書での学習を基に、文字構成、墨量、墨色など様々な工夫をすることの大切さを理解している。	ノート 提出作品	ノート 提出作品	観察 提出作品
6月中旬・7月	篆刻	篆書を用いて姓名印もしくは名印を制作する	a:篆刻に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b:表現の効果を理解し、意図的に構想を工夫している。 b:篆刻に必要な技能を習得し、個性的に表現している。 c:様々な印影を鑑賞し、そのよさや美しさを理解したうえで自身の取り組みを肯定的に受け止めている。	ノート 提出作品	ノート 提出作品	観察 提出作品
8月　夏季休業中の課題	課題　硬筆学習と作者の言葉選び	楷書硬筆プリント 「漢字仮名交じりの書」の学習に備えた作者の言葉(オリジナル)原稿記入プリント	a:国語科書写の基礎的な能力を身に付け、主体的に取り組もうとしている。 b:国語科書写で身に付けた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 b: 均整のとれた文字構成を覚え表現している。 c:日常生活の硬筆の書の効用について理解し、これを生かすことを考えることができてている。	提出作品	提出作品	提出作品

	漢字の書	古典による臨書学習 ・草書 ・行書 ・楷書 【 小テスト 第2回 】 ①平仮名筆順 ②片仮名筆順 ③平仮名字源	a: 各書体の特徴を理解し、字形の構成や全体の構成を工夫しようとしている。 b: 古典の持つ伝統的な美を感受し、書風を捉え表現を構想し工夫している。 b:各書体の基本点画、筆脈を呼吸法の観点から理解し用筆方法を表現することができる。 c:表現方法や書風を分析してよりよく生かすことができるように考えることができる。	ノート 提出作品	ノート 提出作品	観察 提出作品
10 ・ 11. ・ 12. ・ 1 ・ 2 月	仮名の書	古筆による臨書学習 ①高野切第一種 ②本願寺本三十六人家集 ③針切 ④寸松庵色紙 など 【 小テスト 第3回 】 ①平仮名筆順 ②片仮名筆順 ③平仮名字源	a: 行書きを基に散らし書きの効果を臨書することを通して積極的に表現技法を高めようとしている。 b:古典に基づく表現を工夫している。 b:仮名の線質や字形、用筆、運筆などの筆使いを身に付け表現している。 c:仮名の書の美を構成する要素を理解し、自身の書に活用することの大切さを感じとることができている。	鑑賞レポート ノート 提出作品	鑑賞レポート ノート 提出作品	観察 鑑賞レポート 提出作品
	漢字仮名交じりの書	線質による表現の違い 構成による表現の違い その他独自の発想に基づく個性的な表現方法での制作 創作 表装 鑑賞会	a:各古典により学んだ表現方法を積極的に漢字仮名交じりの書に生かそうとしている。 b: 感興に応じて言葉や構成などの表現方法を選び、用具や用材などを工夫している。 b:創作のねらいを達成するために必要な表現や構成など技能を生かして表現している。 c:「書道Ⅰ」の学習成果の上に立って線質、墨の濃淡、墨の潤渇、用紙の工夫、全体構成などを工夫できるよう生かしている。	作品制作プリント 提出作品 鑑賞レポート	作品制作プリント 提出作品 鑑賞レポート	観察 作品制作プリント 提出作品 鑑賞レポート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度